

# 野村金先物投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型

## 運用報告書(全体版)

第99期(決算日2017年11月27日) 第100期(決算日2017年12月25日) 第101期(決算日2018年1月25日)  
第102期(決算日2018年2月26日) 第103期(決算日2018年3月26日) 第104期(決算日2018年4月25日)

作成対象期間(2017年10月26日～2018年4月25日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/その他資産(商品)	
信託期間	2009年7月31日から2019年10月25日までです。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金先物価格のトレンドを概ね捉えるとともにブラジルリアルへの投資効果を追求することを目的として運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。	
主な投資対象	野村金先物投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券および野村マネーポートフォリオ マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の金先物取引等を主要取引対象とします。外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用します。
主な投資制限	野村マネーポートフォリオマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
	野村金先物投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	野村マネーポートフォリオマザーファンド	株式への投資は行いません。
	毎月分配型	毎決算時に、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。また、毎年4月および10月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、安定分配相当額のほか、分配原資の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み		騰落率	債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税分	込配					
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
75期(2015年11月25日)	5,647		50	△ 1.1	0.0	—	98.0	378
76期(2015年12月25日)	5,262		50	△ 5.9	0.0	—	95.7	326
77期(2016年1月25日)	5,033		50	△ 3.4	0.0	—	97.9	312
78期(2016年2月25日)	5,520		50	10.7	0.0	—	97.9	342
79期(2016年3月25日)	5,959		50	8.9	0.0	—	97.9	372
80期(2016年4月25日)	6,136		50	3.8	0.0	—	98.0	386
81期(2016年5月25日)	6,067		50	△ 0.3	0.0	—	97.9	379
82期(2016年6月27日)	6,025		50	0.1	0.0	—	97.9	379
83期(2016年7月25日)	6,694		50	11.9	0.0	—	96.3	612
84期(2016年8月25日)	6,473		50	△ 2.6	0.0	—	98.0	730
85期(2016年9月26日)	6,550		50	2.0	0.0	—	97.8	759
86期(2016年10月25日)	6,485		50	△ 0.2	0.0	—	98.0	779
87期(2016年11月25日)	6,099		50	△ 5.2	0.0	—	98.0	721
88期(2016年12月26日)	6,161		50	1.8	0.0	—	97.6	696
89期(2017年1月25日)	6,631		50	8.4	0.0	—	98.0	714
90期(2017年2月27日)	7,017		50	6.6	0.0	—	98.0	660
91期(2017年3月27日)	6,723		50	△ 3.5	0.0	—	97.9	611
92期(2017年4月25日)	6,823		50	2.2	0.0	—	98.0	610
93期(2017年5月25日)	6,506		50	△ 3.9	0.0	—	97.9	571
94期(2017年6月26日)	6,273		50	△ 2.8	0.0	—	97.9	537
95期(2017年7月25日)	6,651		50	6.8	0.0	—	97.0	545
96期(2017年8月25日)	6,703		50	1.5	0.0	—	96.1	516
97期(2017年9月25日)	6,843		50	2.8	0.0	—	97.9	481
98期(2017年10月25日)	6,625		50	△ 2.5	0.0	—	97.9	453
99期(2017年11月27日)	6,578		50	0.0	0.0	—	98.0	431
100期(2017年12月25日)	6,347		50	△ 2.8	0.0	—	98.0	410
101期(2018年1月25日)	6,585		50	4.5	0.0	—	97.7	412
102期(2018年2月26日)	6,308		50	△ 3.4	0.0	—	97.9	390
103期(2018年3月26日)	6,024		30	△ 4.0	0.0	—	97.9	372
104期(2018年4月25日)	5,951		30	△ 0.7	0.0	—	97.9	367

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	信 託 券 率
			騰 落 率					
第99期	(期首) 2017年10月25日	円		%	%	%	%	%
		6,625		—	0.0	—	—	97.9
	10月末	6,603		△0.3	0.0	—	—	97.7
第100期	(期末) 2017年11月27日	6,628		0.0	0.0	—	—	98.0
	(期首) 2017年11月27日	6,578		—	0.0	—	—	98.0
	11月末	6,617		0.6	0.0	—	—	98.0
第101期	(期末) 2017年12月25日	6,397		△2.8	0.0	—	—	98.0
	(期首) 2017年12月25日	6,347		—	0.0	—	—	98.0
	12月末	6,421		1.2	0.0	—	—	97.7
第102期	(期末) 2018年1月25日	6,635		4.5	0.0	—	—	97.7
	(期首) 2018年1月25日	6,585		—	0.0	—	—	97.7
	1月末	6,701		1.8	0.0	—	—	97.9
第103期	(期末) 2018年2月26日	6,358		△3.4	0.0	—	—	97.9
	(期首) 2018年2月26日	6,308		—	0.0	—	—	97.9
	2月末	6,356		0.8	0.0	—	—	98.0
第104期	(期末) 2018年3月26日	6,054		△4.0	0.0	—	—	97.9
	(期首) 2018年3月26日	6,024		—	0.0	—	—	97.9
	3月末	6,107		1.4	0.0	—	—	97.9
	(期末) 2018年4月25日	5,981		△0.7	0.0	—	—	97.9

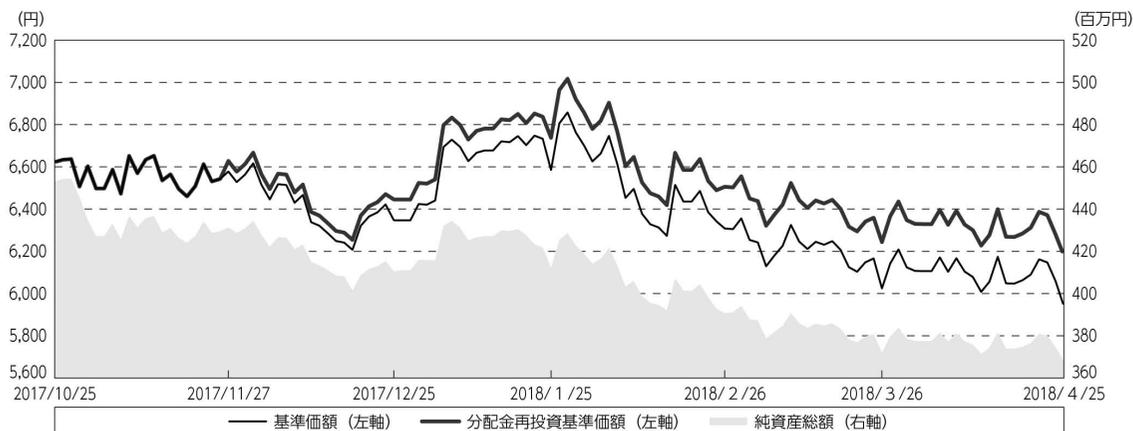
\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○作成期間中の基準価額等の推移



第99期首：6,625円

第104期末：5,951円（既払分配金（税込み）：260円）

騰落率：△6.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2017年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）  
円／ブラジルレアルの為替変動

## ○投資環境

COMEX金先物（期近物）は当作成期において、上昇しました。当作成期首から2017年12月中旬にかけては、米労働市場の改善を示す内容となった11月の米雇用統計を受けてFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げペースが加速するとの観測が高まったことなどを背景に、金は下落しました。その後は、スペインのカタルーニャ州独立問題を巡る欧州政治の不透明感の高まりや、米財務長官のドル安容認発言を受けてドル安が進んだことなどを背景に、金は上昇しました。当作成期首は1トロイオンスあたり1,277.70米ドルでしたが、当作成期末には1,322.50米ドルとなりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### 〔野村金先物投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型〕

〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL〕および〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL〕 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

### 〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL〕

米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に投資するとともに、金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等を利用し、金先物に対する実質的なエクスポージャー比率を、純資産総額の90%～110%程度の範囲に維持しました。

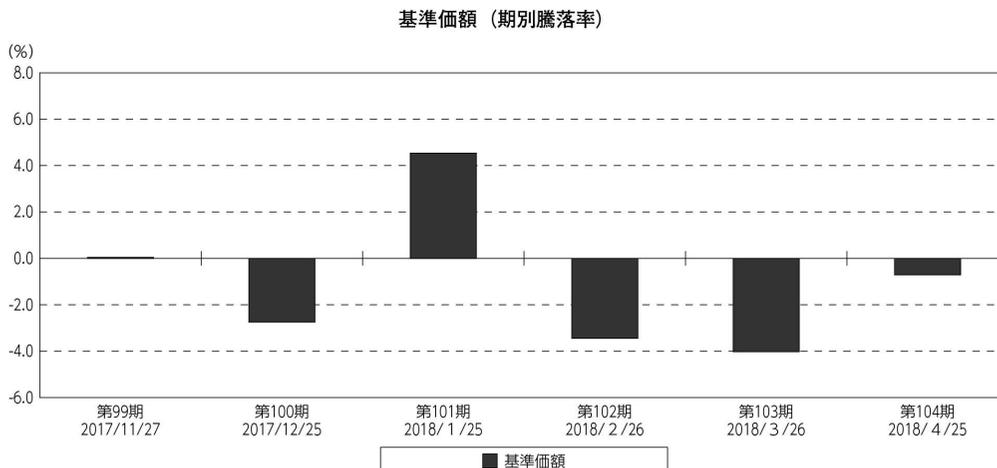
### 〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案し、決定しました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
	2017年10月26日～ 2017年11月27日	2017年11月28日～ 2017年12月25日	2017年12月26日～ 2018年1月25日	2018年1月26日～ 2018年2月26日	2018年2月27日～ 2018年3月26日	2018年3月27日～ 2018年4月25日
当期分配金	50	50	50	50	30	30
(対基準価額比率)	0.754%	0.782%	0.754%	0.786%	0.496%	0.502%
当期の収益	50	50	50	50	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	8,397	8,415	8,437	8,455	8,469	8,482

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ◎今後の運用方針

### [野村金先物投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型]

[ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL] および [野村マネーポートフォリオ マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

### [ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]

米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に投資するとともに、金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等を利用し、金先物に対する実質的なエクスポージャー比率を、原則として純資産総額の90%～110%の範囲に保つことを目指します。

なお、当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

### [野村マネーポートフォリオ マザーファンド]

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

#### ※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年10月26日～2018年4月25日)

項 目	第99期～第104期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 41	% 0.635	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(16)	(0.242)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(24)	(0.377)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.636	
作成期間の平均基準価額は、6,467円です。			

\*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年10月26日～2018年4月25日)

## 投資信託証券

銘 柄		第99期～第104期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	口	千円	口	千円	
	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・ フューチャー・ファンドークラスBRL	2,645	13,317	9,335	48,214

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年10月26日～2018年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年4月25日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第98期末	第104期末		
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・ フューチャー・ファンドークラスBRL		84,309	77,619	360,229	97.9
合	計	84,309	77,619	360,229	97.9

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 親投資信託残高

銘	柄	第98期末	第104期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
野村マネーポートフォリオ マザーファンド		99	99	100

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2018年4月25日現在)

項 目	第104期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	360,229	97.3
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	9,932	2.7
投資信託財産総額	370,261	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末
	2017年11月27日現在	2017年12月25日現在	2018年1月25日現在	2018年2月26日現在	2018年3月26日現在	2018年4月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	435,687,364	414,139,801	416,626,770	397,054,293	374,235,758	370,261,353
コール・ローン等	12,292,103	11,792,034	12,458,809	14,270,766	9,736,929	9,827,881
投資信託受益証券(評価額)	422,693,846	402,146,998	402,558,336	382,683,268	364,294,950	360,229,779
野村マネーポートフォリオ マザーファンド(評価額)	100,269	100,269	100,259	100,259	100,259	100,249
未収入金	601,146	100,500	1,509,366	—	103,620	103,444
(B) 負債	4,331,883	3,643,825	4,465,968	6,335,670	2,228,985	2,353,531
未払金	104,140	—	—	103,908	—	102,102
未払収益分配金	3,278,792	3,233,642	3,129,307	3,097,022	1,852,550	1,854,661
未払解約金	447,976	—	877,239	2,678,375	—	—
未払信託報酬	500,122	409,486	458,639	455,585	375,790	396,084
未払利息	16	13	14	19	18	21
その他未払費用	837	684	769	761	627	663
(C) 純資産総額(A-B)	431,355,481	410,495,976	412,160,802	390,718,623	372,006,773	367,907,822
元本	655,758,476	646,728,588	625,861,541	619,404,420	617,516,719	618,220,490
次期繰越損益金	△224,402,995	△236,232,612	△213,700,739	△228,685,797	△245,509,946	△250,312,668
(D) 受益権総口数	655,758,476口	646,728,588口	625,861,541口	619,404,420口	617,516,719口	618,220,490口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,578円	6,347円	6,585円	6,308円	6,024円	5,951円

(注) 第99期首元本額は683,958,712円、第99～104期中追加設定元本額は5,320,784円、第99～104期中一部解約元本額は71,059,006円、1口当たり純資産額は、第99期0.6578円、第100期0.6347円、第101期0.6585円、第102期0.6308円、第103期0.6024円、第104期0.5951円です。

## ○損益の状況

項 目	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
	2017年10月26日～ 2017年11月27日	2017年11月28日～ 2017年12月25日	2017年12月26日～ 2018年1月25日	2018年1月26日～ 2018年2月26日	2018年2月27日～ 2018年3月26日	2018年3月27日～ 2018年4月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	4,857,595	4,806,372	4,668,151	4,630,937	3,085,517	3,097,546
受取配当金	4,857,984	4,806,660	4,668,490	4,631,253	3,085,897	3,097,960
支払利息	△ 389	△ 288	△ 339	△ 316	△ 380	△ 414
(B) 有価証券売買損益	△ 4,180,716	△ 16,081,934	13,829,124	△ 18,266,919	△ 18,377,376	△ 5,370,848
売買益	367,651	268,383	14,433,179	130,442	20,084	4,059
売買損	△ 4,548,367	△ 16,350,317	△ 604,055	△ 18,397,361	△ 18,397,460	△ 5,374,907
(C) 信託報酬等	△ 500,959	△ 410,170	△ 459,408	△ 456,346	△ 376,417	△ 396,747
(D) 当期損益金(A+B+C)	175,920	△ 11,685,732	18,037,867	△ 14,092,328	△ 15,668,276	△ 2,670,049
(E) 前期繰越損益金	△118,536,249	△119,802,248	△130,189,301	△113,934,733	△130,540,583	△148,056,619
(F) 追加信託差損益金	△102,763,874	△101,510,990	△ 98,419,998	△ 97,561,714	△ 97,448,537	△ 97,731,339
(配当等相当額)	( 508,818,126)	( 501,867,259)	( 485,732,818)	( 480,779,100)	( 479,374,143)	( 479,971,587)
(売買損益相当額)	(△611,582,000)	(△603,378,249)	(△584,152,816)	(△578,340,814)	(△576,822,680)	(△577,702,926)
(G) 計(D+E+F)	△221,124,203	△232,998,970	△210,571,432	△225,588,775	△243,657,396	△248,458,007
(H) 収益分配金	△ 3,278,792	△ 3,233,642	△ 3,129,307	△ 3,097,022	△ 1,852,550	△ 1,854,661
次期繰越損益金(G+H)	△224,402,995	△236,232,612	△213,700,739	△228,685,797	△245,509,946	△250,312,668
追加信託差損益金	△102,763,874	△101,510,990	△ 98,419,998	△ 97,561,714	△ 97,448,537	△ 97,731,339
(配当等相当額)	( 508,818,126)	( 501,867,259)	( 485,732,818)	( 480,779,100)	( 479,374,143)	( 479,971,587)
(売買損益相当額)	(△611,582,000)	(△603,378,249)	(△584,152,816)	(△578,340,814)	(△576,822,680)	(△577,702,926)
分配準備積立金	41,841,379	42,372,099	42,369,507	42,952,384	43,617,811	44,462,552
繰越損益金	△163,480,500	△177,093,721	△157,650,248	△174,076,467	△191,679,220	△197,043,881

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年10月26日～2018年4月25日)は以下の通りです。

項 目	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
	2017年10月26日～ 2017年11月27日	2017年11月28日～ 2017年12月25日	2017年12月26日～ 2018年1月25日	2018年1月26日～ 2018年2月26日	2018年2月27日～ 2018年3月26日	2018年3月27日～ 2018年4月25日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,356,650円	4,396,209円	4,552,205円	4,174,601円	2,709,115円	2,700,813円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	508,818,126円	501,867,259円	485,732,818円	480,779,100円	479,374,143円	479,971,587円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	40,763,521円	41,209,532円	40,946,609円	41,874,805円	42,761,246円	43,616,400円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	553,938,297円	547,473,000円	531,231,632円	526,828,506円	524,844,504円	526,288,800円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,447円	8,465円	8,487円	8,505円	8,499円	8,512円
g. 分配金	3,278,792円	3,233,642円	3,129,307円	3,097,022円	1,852,550円	1,854,661円
h. 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	30円	30円

## ○分配金のお知らせ

	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	30円	30円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2018年4月25日現在）

## &lt;野村マネーポートフォリオ マザーファンド&gt;

下記は、野村マネーポートフォリオ マザーファンド全体（145,071千口）の内容です。

## 国内公社債

## (A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	第104期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地方債証券	千円 11,000 (11,000)	千円 11,024 (11,024)	% 7.6 ( 7.6)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 7.6 ( 7.6)
金融債券	10,000 (10,000)	10,002 (10,002)	6.9 ( 6.9)	— (—)	— (—)	— (—)	6.9 ( 6.9)
合 計	21,000 (21,000)	21,027 (21,027)	14.4 (14.4)	— (—)	— (—)	— (—)	14.4 (14.4)

\*（ ）内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	第104期末			償還年月日
		利率	額面金額	評価額	
<b>地方債証券</b>		%	千円	千円	
千葉県	公募平成20年度第2回	1.8	5,000	5,007	2018/5/25
大阪市	公募平成20年度第2回	1.95	6,000	6,016	2018/6/20
小	計		11,000	11,024	
<b>金融債券</b>					
しんきん	中金債券 利付第282回	0.3	10,000	10,002	2018/5/25
小	計		10,000	10,002	
合	計		21,000	21,027	

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

# ノムラ・コモディティ・トラスト・ゴールド・フューチャー・ファンド (クラスAUD、クラスBRL、クラスZAR)

2017年8月31日決算

(計算期間：2016年9月1日～2017年8月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運用方針	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の金先物取引等を主要取引対象とし、米国の金先物価格のトレンドを概ね捉えるとともに各クラスで定められた通貨への投資効果を追求することを目的として運用を行います。
投資対象	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券 金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	インベストエック・アセット・マネジメント・リミテッド
共同投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
管理事務代行会社 保管銀行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

\*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書  
2017年8月31日に終了する計測期間  
(米ドル)

<b>収益</b>	
銀行口座利息	8,715
収益合計	<u>8,715</u>
<b>費用</b>	
投資顧問および共同投資顧問報酬	43,183
事務管理代行報酬	20,559
保管費用	4,379
取引銀行報酬	1,105
受託報酬	6,170
法務報酬	2,375
立替費用	4,110
専門家報酬	19,572
雑費用	119
費用合計	<u>101,572</u>
<b>純投資損益</b>	<u>(92,857)</u>
投資有価証券売買に係る損益	87,048
先物取引契約に係る損益	(1,771,460)
外国通貨および外国為替先渡し契約に係る損益	<u>1,245,854</u>
<b>当期実現純損益</b>	<u>(438,558)</u>
投資有価証券評価差損益	7,604
先物取引契約に係る評価差損益	993,220
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	<u>281,717</u>
<b>当期評価差損益</b>	<u>1,282,541</u>
<b>運用の結果による純資産の増減額</b>	<u><u>751,126</u></u>

組入資産明細  
2017年8月31日現在  
(米ドル)

通貨	額面*	銘柄	評価額	投資比率(%)
<b>アメリカ</b>				
短期国庫債券				
USD	1,852,400	US TREAS BILL 0% 05/10/17	1,850,519	10.10
USD	1,805,900	US TREAS BILL 0% 14/09/17	1,805,271	9.84
USD	1,802,600	US TREAS BILL 0% 19/10/17	1,799,938	9.81
USD	1,800,900	US TREAS BILL 0% 12/10/17	1,798,620	9.81
USD	1,781,000	US TREAS BILL 0% 28/09/17	1,779,705	9.70
USD	1,731,800	US TREAS BILL 0% 26/10/17	1,729,200	9.43
USD	1,730,600	US TREAS BILL 0% 02/11/17	1,727,768	9.42
USD	1,723,500	TREASURY BILL 0% 21/09/17	1,722,585	9.39
USD	1,519,100	US TREAS BILL 0% 07/09/17	1,518,842	8.28
			15,732,448	85.78
		アメリカ計	15,732,448	85.78
		投資有価証券合計	15,732,448	85.78

\* 額面は発行通貨建て表示

## 外国為替先渡し契約

2017年8月31日現在

通貨(買い)		通貨(売り)		満期	未実現損益(米ドル)
ZAR	892,191	USD	67,094	September 8, 2017	1,390
AUD	3,856,846	USD	3,057,283	September 8, 2017	(8,927)
AUD	3,931,666	USD	3,100,135	September 15, 2017	7,098
ZAR	900,024	USD	66,848	September 15, 2017	2,159
USD	25,360	AUD	32,277	September 15, 2017	(149)
USD	9,328	AUD	11,872	September 15, 2017	(55)
ZAR	797,682	USD	60,182	September 22, 2017	908
AUD	3,639,159	USD	2,881,591	September 22, 2017	(5,771)
BRL	3,815,216	USD	1,200,000	October 3, 2017	1,198
USD	23,803	AUD	30,188	September 15, 2017	(55)
USD	10,997	BRL	35,036	October 3, 2017	(34)
BRL	3,814,666	USD	1,200,000	October 3, 2017	1,024
USD	86,949	BRL	275,059	October 3, 2017	348
BRL	4,425,663	USD	1,400,000	October 3, 2017	(6,607)
USD	914	AUD	1,156	September 15, 2017	1
ZAR	24,610	USD	1,860	September 22, 2017	25
BRL	2,845,812	USD	900,000	October 3, 2017	(4,013)
AUD	2,318	USD	1,841	September 22, 2017	(9)
BRL	1,170,739	USD	369,511	October 3, 2017	(911)
AUD	3,782,384	USD	3,002,150	September 29, 2017	(13,397)
ZAR	892,076	USD	68,032	September 29, 2017	209
USD	945	ZAR	12,345	September 15, 2017	(2)
AUD	4,570	USD	3,636	September 22, 2017	(25)
USD	64,561	BRL	205,753	October 3, 2017	(220)
USD	44,409	AUD	56,282	September 8, 2017	(75)
USD	936	BRL	2,974	October 3, 2017	(1)
BRL	1,747,785	USD	549,960	October 3, 2017	320
					(25,571)

## 先物取引契約

2017年8月31日現在

通貨	契約数	銘柄	満期	市場価格(米ドル)	未実現損益(米ドル)
<b>買建</b>					
USD	141	FUT GOLD 100 OZ	Oct 2017	18,476,640	755,950
				18,476,640	755,950
				755,950	

# 野村マネーポートフォリオ マザーファンド

## 運用報告書

第9期（決算日2017年7月11日）

作成対象期間（2016年7月12日～2017年7月11日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
	円		%	%	%	百万円
5期(2013年7月11日)	10,051		0.1	99.5	—	391
6期(2014年7月11日)	10,059		0.1	68.6	—	207
7期(2015年7月13日)	10,066		0.1	66.7	—	135
8期(2016年7月11日)	10,069		0.0	60.5	—	140
9期(2017年7月11日)	10,065		△0.0	60.8	—	140

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2016年7月11日	円 10,069		% —	% 60.5	% —
7月末	10,069		0.0	53.6	—
8月末	10,069		0.0	35.2	—
9月末	10,069		0.0	33.3	—
10月末	10,068		△0.0	25.4	—
11月末	10,068		△0.0	25.3	—
12月末	10,068		△0.0	21.7	—
2017年1月末	10,067		△0.0	29.0	—
2月末	10,067		△0.0	74.0	—
3月末	10,067		△0.0	58.0	—
4月末	10,066		△0.0	72.1	—
5月末	10,066		△0.0	64.3	—
6月末	10,066		△0.0	60.9	—
(期末) 2017年7月11日	円 10,065		% △0.0	% 60.8	% —

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

### ○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

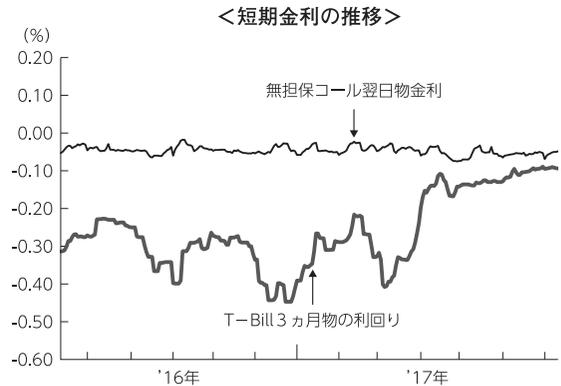
このような中、日本銀行は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を継続し、2016年9月には、これらの政策枠組みを強化する意味合いから「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入しました。

### ・無担保コール翌日物金利の推移

マイナス金利政策のもと、 $-0.05\%$ 近傍で推移しました。

### ・T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りの推移

日本銀行による買入や海外勢を中心とした投資家需要が続く中、3月下旬までの間、利回りは $-0.2\% \sim -0.4\%$ 近傍で推移しました。その後は、投資家の需要減退等を背景に利回りは上昇し、期末には $-0.1\%$ となりました。



### ○当ファンドのポートフォリオ

残存期間の短い高格付けの公社債によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、コール・ローン等により運用いたしました。

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

今後も、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコールローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年7月12日～2017年7月11日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2016年7月12日～2017年7月11日)

### 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	170,056	170,056
	地方債証券	42,202	— ( 37,000)
内	特殊債券	235,444	— (260,000)
	社債券 (投資法人債券を含む)	52,086	— ( 32,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は償還等による増減分です。

\*社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年7月12日～2017年7月11日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 329	百万円 10	% 3.0	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2017年7月11日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
地方債証券	20,000 (20,000)	20,078 (20,078)	14.3 (14.3)	- (-)	- (-)	- (-)	14.3 (14.3)	
特殊債券 (除く金融債)	45,000 (45,000)	45,129 (45,129)	32.2 (32.2)	- (-)	- (-)	- (-)	32.2 (32.2)	
普通社債券 (含む投資法人債券)	20,000 (20,000)	20,004 (20,004)	14.3 (14.3)	- (-)	- (-)	- (-)	14.3 (14.3)	
合 計	85,000 (85,000)	85,212 (85,212)	60.8 (60.8)	- (-)	- (-)	- (-)	60.8 (60.8)	

\* ( )内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期		評 価 額	償 還 年 月 日
		額 面	金 額		
<b>地方債証券</b>	%		千円	千円	
共同発行市場地方債 公募第53回	1.8	10,000		10,022	2017/8/25
山梨県 公募平成19年度第1回	1.86	10,000		10,055	2017/10/30
小 計			20,000	20,078	
<b>特殊債券(除く金融債)</b>					
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第41回	1.7	35,000		35,121	2017/9/28
東日本高速道路 第18回	0.387	10,000		10,008	2017/9/20
小 計			45,000	45,129	
<b>普通社債券(含む投資法人債券)</b>					
関西電力 第486回	0.821	10,000		10,003	2017/7/25
小田急電鉄 第65回社債間限定同順位特約付	0.17	10,000		10,001	2017/7/25
小 計			20,000	20,004	
合 計			85,000	85,212	

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2017年7月11日現在)

項 目	当 期		比 率
	評 価 額	金 額	
公社債		千円	%
	85,212		60.8
コール・ローン等、その他	54,849		39.2
投資信託財産総額	140,061		100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年7月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	140,061,727
コール・ローン等	54,415,317
公社債(評価額)	85,212,684
未収利息	97,936
前払費用	335,790
(B) 負債	73
未払利息	73
(C) 純資産総額(A-B)	140,061,654
元本	139,150,711
次期繰越損益金	910,943
(D) 受益権総口数	139,150,711口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,065円

(注) 期首元本額は139,732,869円、期中追加設定元本額は17,926,891円、期中一部解約元本額は18,509,049円、1口当たり純資産額は1.0065円です。

## ○損益の状況 (2016年7月12日～2017年7月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	568,624
受取利息	604,665
支払利息	△ 36,041
(B) 有価証券売買損益	△622,625
売買損	△622,625
(C) 当期損益金(A+B)	△ 54,001
(D) 前期繰越損益金	969,785
(E) 追加信託差損益金	122,038
(F) 解約差損益金	△126,879
(G) 計(C+D+E+F)	910,943
次期繰越損益金(G)	910,943

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村金先物投信(マネーボールファンド)年2回決算型	84,295,745
財形給付金ファンド	43,763,922
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	2,465,275
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	1,003,293
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	998,495
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	997,887
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	997,001
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	997,000
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ニュージーランドドルコース)毎月分配型	996,337
野村金先物投信(豪ドルコース)年2回決算型	996,216
野村金先物投信(豪ドルコース)毎月分配型	996,215
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	100,755
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	99,927
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	99,898
野村金先物投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	99,622
野村金先物投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	99,622
野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	99,622
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,985
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ニュージーランドドルコース)年2回決算型	9,978
野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,978
野村金先物投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,962
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Cコース	994
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Dコース	994

○お知らせ

---

スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

「野村金先物投信(通貨選択型)」(マネープールファンド(年2回決算型)を除く)の  
お申し込み時の留意点

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日(以下「申込不可日」といいます。)があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますよう  
よろしくお願いたします。

(2018年4月25日現在)

年 月	日
2018年4月	27
5月	1、2、7、9、10、18、21、25、28
6月	—
7月	3、4
8月	14、15、24、27、31
9月	3
10月	31
11月	1、9、12、21、22
12月	21、25、26

※2018年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。